JSW JFE Steel Limitedにおける生産能力拡張の決定について

2026年10月26日

JFEホールディングス株式会社　| 証券コード：5411 |

本日の報告内容

1 JJSL拡張の概要

2 当社の海外戦略とその進捗

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

JJSL拡張の概要

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

JSW JFE Steel Limited概要①

東日本・西日本製鉄所に次ぐ、JFE第３の一貫製鉄所

- 2026年4月、インド JSWスチールと、**一貫製鉄所の合弁会社設立 (50:50)**
- **今回、2030年までに950万t/年への能力拡張を決定。**将来1,500万t級の拡張ポテンシャル保有
- **インドで最大の鉄鉱石生産地域に自社鉱山を保有**し、コスト競争力が高い

概要

会社名	JSW JFE Steel Limited （JJSL）
製鉄所 所在地	インド　オディシャ州
出資額	1,575億INR (約2,700億円)
持分比率	JFE50%、JSW50%
主要生産品目	熱延鋼板、冷延鋼板、棒鋼、線材、鋼管
粗鋼生産能力	450万t/年
主要財務指標 (25年4-9月実績x2)	売上　　：2,032億INR (約3,400億円) EBITDA　：　297億INR　(約500億円) 税後利益　：　　99億INR　(約170億円)

1 INR = 1.69円

沿革

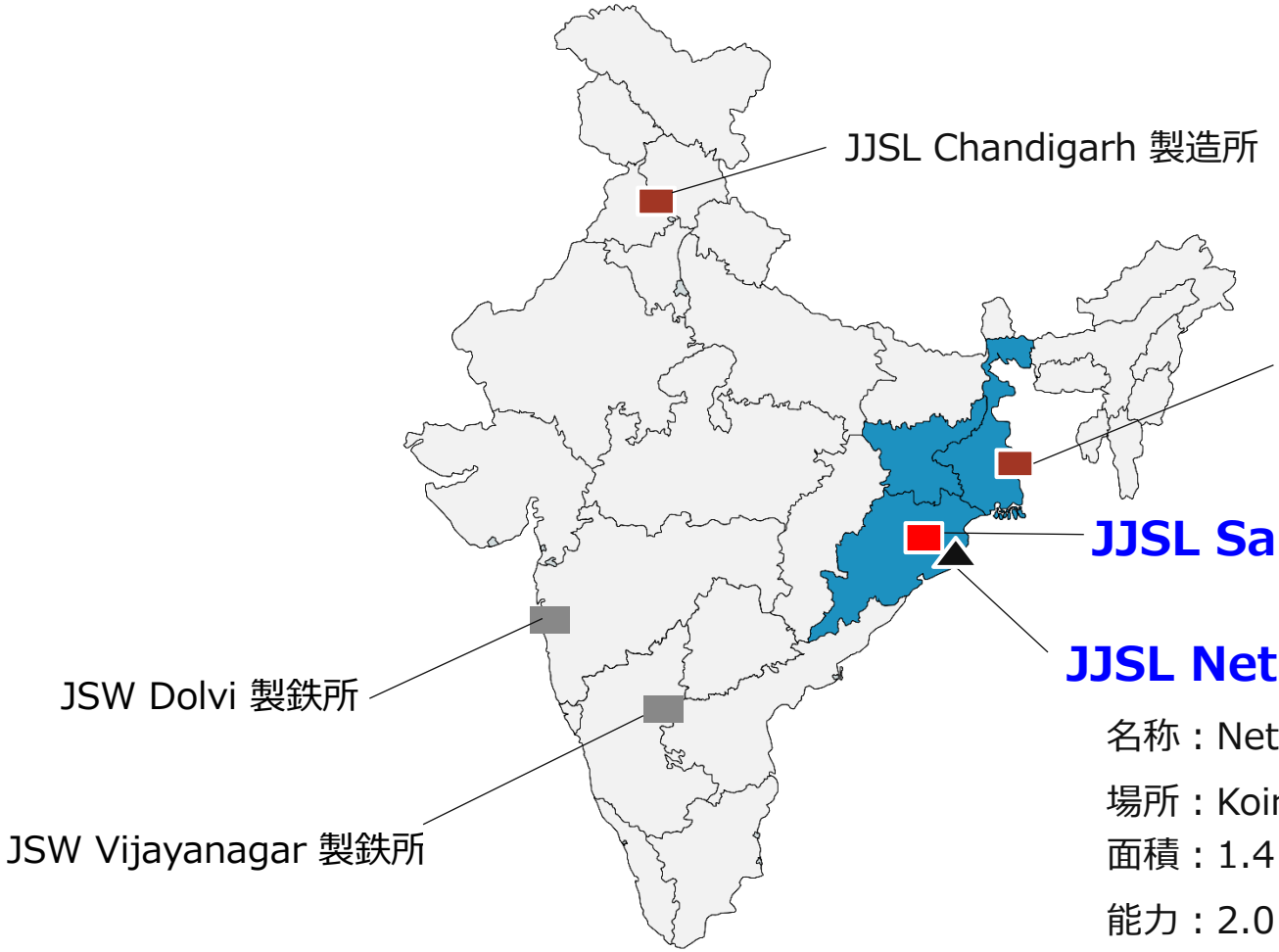
1970	Bhushan Singhal グループにより設立
2005	オディシャ州での製鉄所操業を開始
2017	Punjab National Bankにより強制倒産手続き JSWスチールによる企業再生プロセス開始
2023	粗鋼生産能力を275万t/年から350万t/年に拡大
2024	粗鋼生産能力を450万t/年へ拡大

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

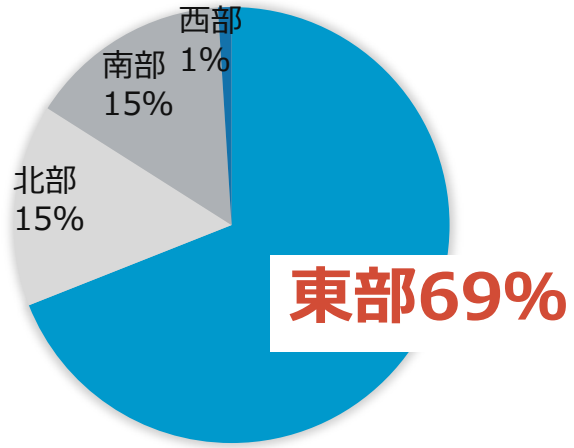
JSW JFE Steel Limited概要②

インドで最大の鉄鉱石生産地域に自社鉱山を保有し、高いコスト競争力を有する

- 恵まれた地質条件（高鉄分の鉱床が浅い地層に分布）
- 製鉄所に近く良好な立地（距離約200km, 鉄道・道路のインフラ充実）



東部地域の鉄鉱石生産：
インド全体の7割と豊富



JJSL Netrabandha 鉱山 (2026年4月操業開始)

名称：Netrabandha Pahar Iron ore Block

場所：Koira, Odisha state

面積：1.4 km²

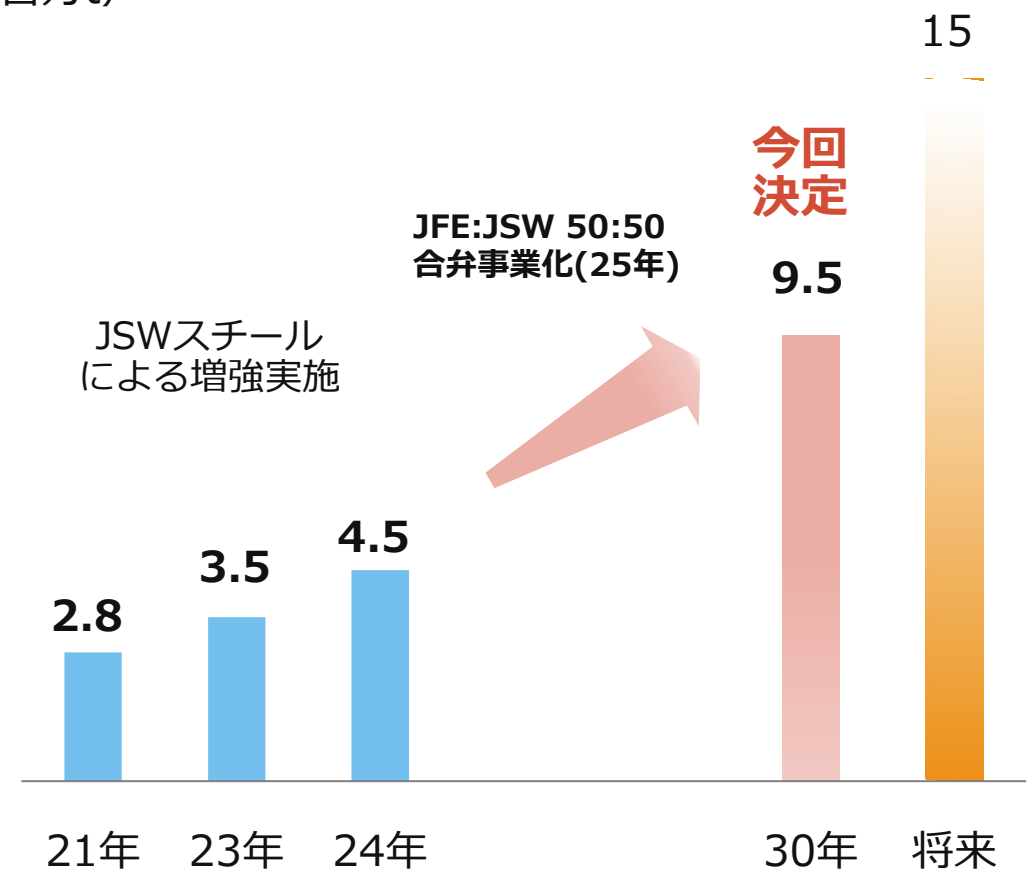
能力：2.0 百万t/年 (将来 4.0 百万t/年まで拡張可)

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

今回決定した拡張の概要①

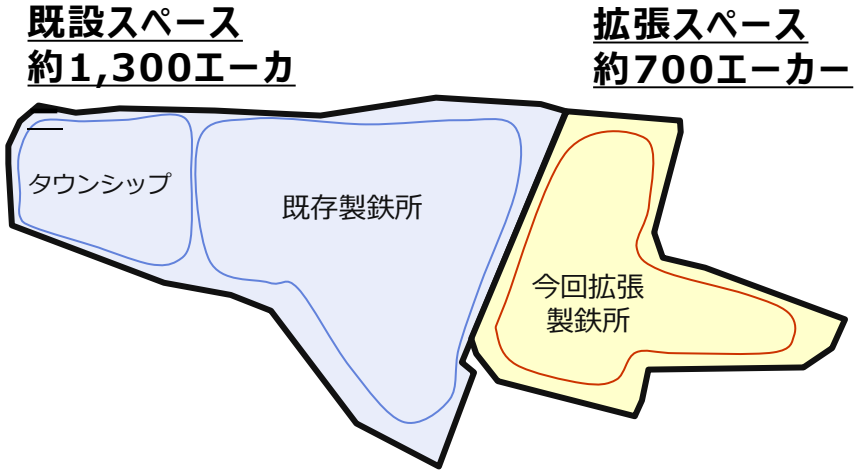
- **2030年に9.5百万t/年へ+5.0百万tの能力拡張**を決定。
- 将来的に15百万t規模へ拡張を構想

粗鋼生産能力



拡張製鉄所の製造プロセス

- 大型 高炉
- 大型 製鋼工場
- 広幅 熱延工場
- 広幅 冷延メッキ工場
  (既設の冷延工場内にライン増設)



- 既存製鉄所に隣接して一貫製鉄設備を増設
- 既存工場の余力も活用した効率的な拡張

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

今回決定した拡張の概要②

主要新設設備

主要設備	基数	能力 (百万t/年)	特記
高炉	1基	5	内容積：約5,300㎥　インド最大クラス
ペレットプラント	1基	8	
コークスプラント	2炉団	2	
転炉	2基	5	ヒートサイズ：350ｔ　インド最大クラス
スラブ連鋳機	2基		2ストランド/基×2基
熱延	1基	5	最大板幅 2,150mm　インド最大幅クラス 将来の高付加価値製品を見据えた仕様
酸洗・冷延ミル・CGL	各1基	0.6	最大板幅 1,650mm　インド東部最大幅クラス

稼働開始時期(予定)

2030年

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

当社出資決定後の主な経緯

25年12月3日　JSWとの一貫製鉄所合弁事業への出資を決定

26年3月30日　クロージング完了。第1回目の出資完了（ 出資比率 25% ）

26年4月17日　新会社の社名登記完了
持株会社「JSW JFE Kalinga Steel Limited」
事業会社「JSW JFE Steel Limited」（以降、JJSL）

26年4月23日　プレス・アナリスト向けに現地工場見学会を開催

26年4月24日　JJSLの発足式を開催
JSW・JFEの協業15年史を発行

26年5–6月　JFEスチール⇒JJSLへ出向者を派遣
(拡張実行に合わせ、今後さらなる増員を予定)

26年6月30日　第2回目の出資完了（ 出資比率 50% ）

26年10月23日　JJSLにおける生産能力拡張投資を決定



Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

JFEスチールの目指す姿

- **JFEの技術を投入し、インドで最も先進的、かつ高いコスト競争力を有する生産拠点**へと成長
- 国内東西製鉄所に次ぐ、**早期に拡張を実現するJFE第3の一貫製鉄所**として主体的に運営

将来に向けた戦略的生産拠点配置



Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

当社の海外戦略とその進捗

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

「JFEビジョン2035」・第8次中期経営計画

- 強靭化した国内製鉄所・製造所で競争優位性の源泉であるCNを含めた革新技術や高付加価値品で稼ぐ力を向上
- **海外成長地域において、優位性のある技術・商品・人材を活かしてトップクラスのパートナーと連携して事業拡大**

	第8次中期経営計画	「JFEビジョン2035」
経済的持続性	**●国内生産体制の再構築** ・高付加価値品比率の向上（60%） ・国内生産体制・事業の再編	**●グループ事業利益増大（セグメント利益 7,000 億円）** ・成長戦略に基づいた**スリムで強靭な国内体制** - 競争優位性の源泉である技術・人材を創出 - 量から質への転換の深化、各事業の再編と統合
経済的持続性	**●海外事業拡大** ・**成長地域トップクラスのパートナーとのインサイダー型事業拡大**	・**海外成長地域でインサイダー型事業拡大による成長** - トップクラスのパートナーとの協業、M&A
環境的社会的持続性	**●グリーン鋼材の開発と普及** ・超革新技術の開発（GI基金） ・革新電気炉(*)の建設 ・グリーン鋼材の拡販	**●CNに向けた技術開発のトップランナー** ・**超革新プロセス転換技術の開発完了** ・地球環境保全に貢献する高い技術力と多様なエコプロダクト群の提供 ・高品質な**グリーン鋼材市場におけるメインプレーヤー**

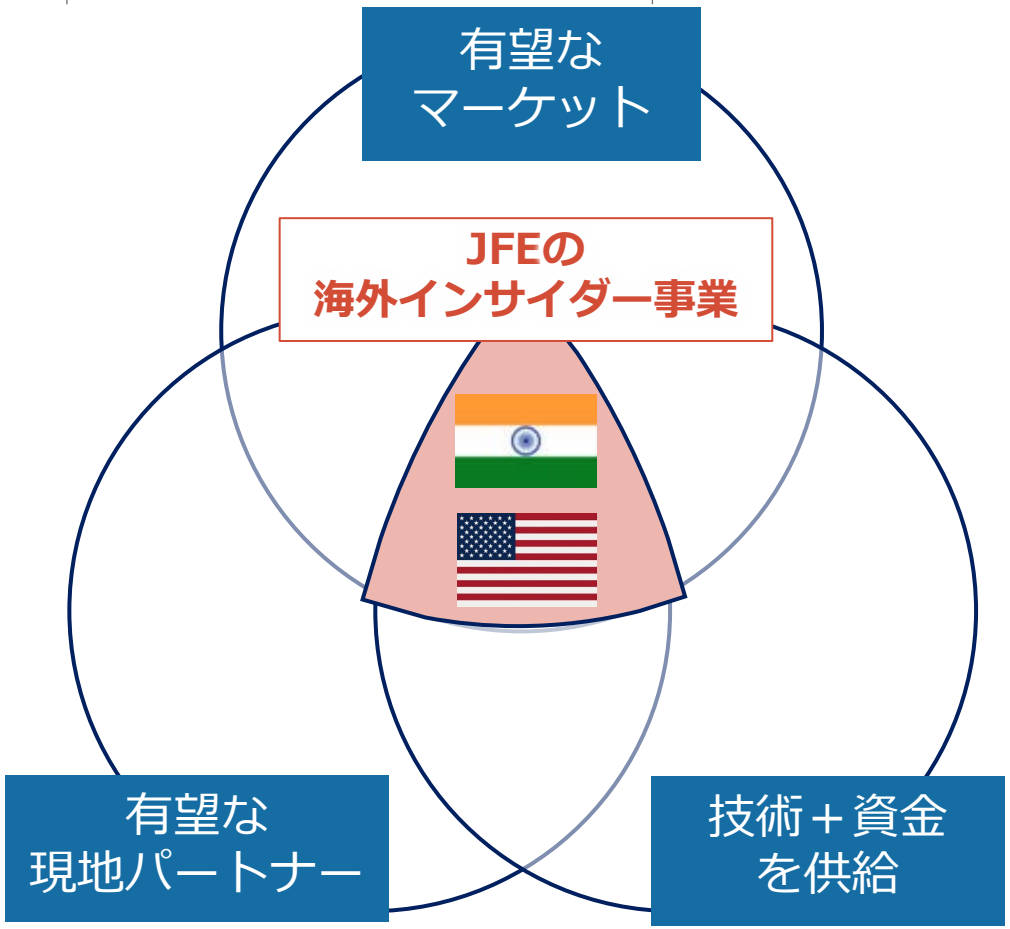
（*）高品質・高機能鋼材が製造可能な高効率・大型の革新電気炉

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

JFEスチールの海外戦略における３つの柱

- **海外戦略の３つの柱**と合致する現地パートナーである**JSW(インド)、Nucor(北米)への技術供与・資金拠出**を通じて、**インサイダー型事業**を進めてきた。更なる拡大に向け、成長市場における海外鉄鋼需要を捕捉

JFE海外戦略の３つの柱



有望なマーケット

①需要成長するマーケット（人口増、需要構造変化）
②安定収益を確保できる（レッドオーシャンではない）マーケット
③コスト優位性を発揮できるマーケット
　(原料・エネルギー立地、需要地立地（物流費）、地政学的条件)

有望な現地パートナー

①信頼できるパートナー：長期にわたる信頼関係
②実力のあるパートナー：現地での経営能力・事業基盤・事業意欲、政治力
③ビジョンを同じくしたパートナー：Win-Winを目指し共に成長、長期志向

技術＋資金を供給

①単なる資金供給ではなく、技術を加える事で成功を加速する
②一次的な技術供与ではなく、継続的に新技術を提供し続ける

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

JFEスチールの海外展開

- 海外戦略の３つの柱、インサイダー型事業に沿った成長投資を実行

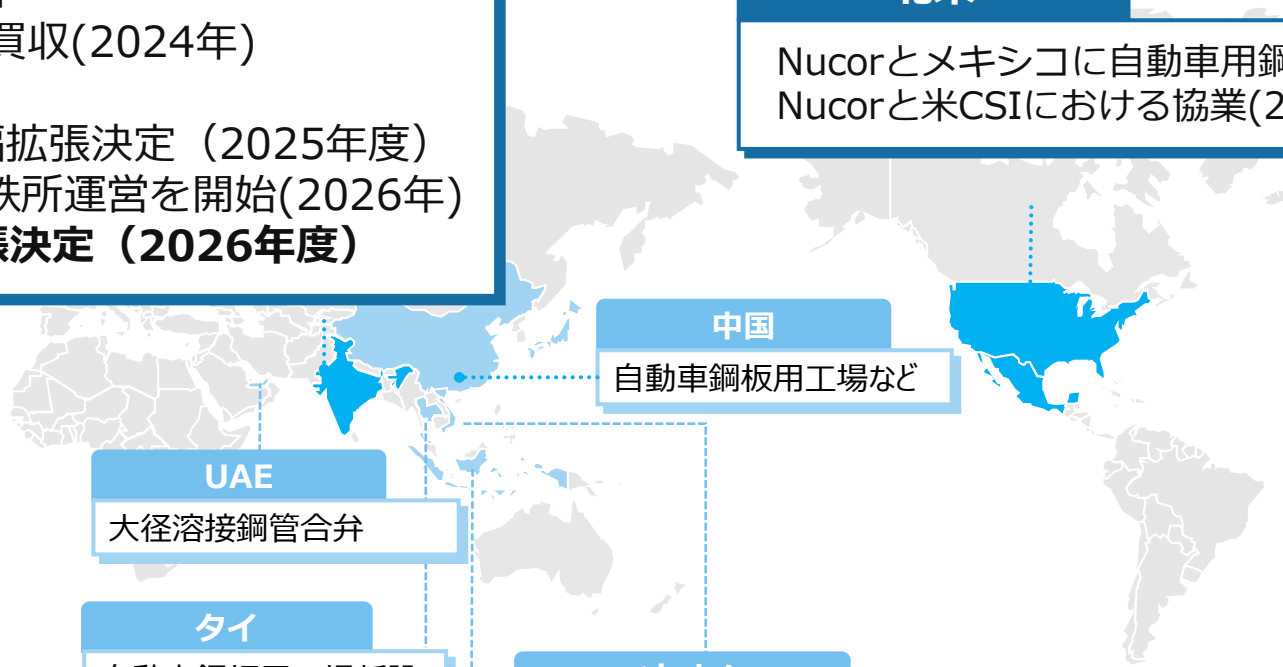
JFEスチールの海外展開

インド

JSWスチールと戦略的提携
・J2ES：印国内初の方向性電磁鋼板(2023年)
　一貫製造・販売会社の共同運営
・J2ES Nashik：旧tkESIの共同買収(2024年)
　⇒J2ES,J2ES Nashik
　　方向性電磁鋼板生産能力大幅拡張決定（2025年度）
・**JJSL**：JSWとの印国内一貫製鉄所運営を開始(2026年)
　⇒**JJSL 500万tの生産能力拡張決定（2026年度）**

北米

Nucorとメキシコに自動車用鋼板工場新設(2019年度)
Nucorと米CSIにおける協業(2021年度)



中国

自動車鋼板用工場など

UAE

大径溶接鋼管合弁

タイ

自動車鋼板用工場新設
(業界初)など

ベトナム

高炉一貫製鉄所PJなど

インドネシア

自動車鋼板用工場など

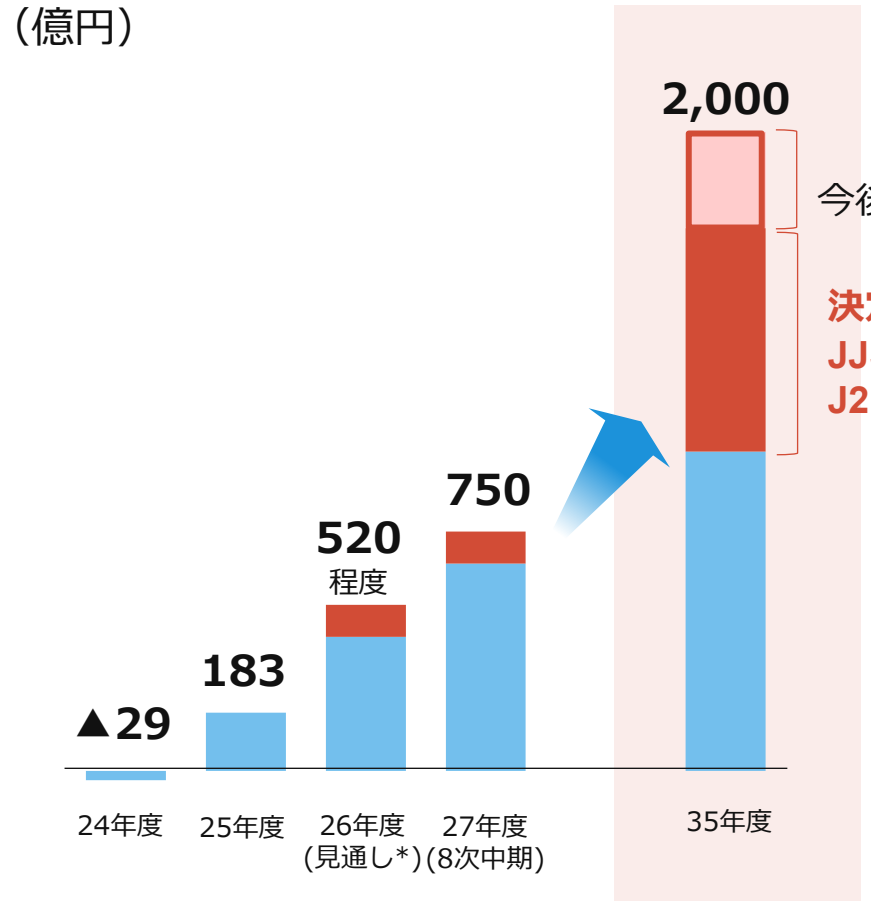
J2ES：JSW JFE Electrical Steel Private Limited

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

海外事業拡大

- **海外事業収益2,000億円**に向けて、これまでに実行してきた投資による効果(Organic Growth)に加え、成長分野・地域への積極的な投資により、更なる成長を実現

海外事業収益



*26年8月公表

投資による成長

(8次中期投資枠4,000億円＋α)

- 一貫製鉄所事業：JJSL
  2030年に9.5百万t/年へ+5.0百万tの能力拡張
- 電磁鋼板事業　：J2ES・J2ES Nashik
  2030年に35万t/年体制へ

既存海外事業の成長(Organic Growth含む)

- JSWのOrganic Growth
- 既存事業・投資の収益改善

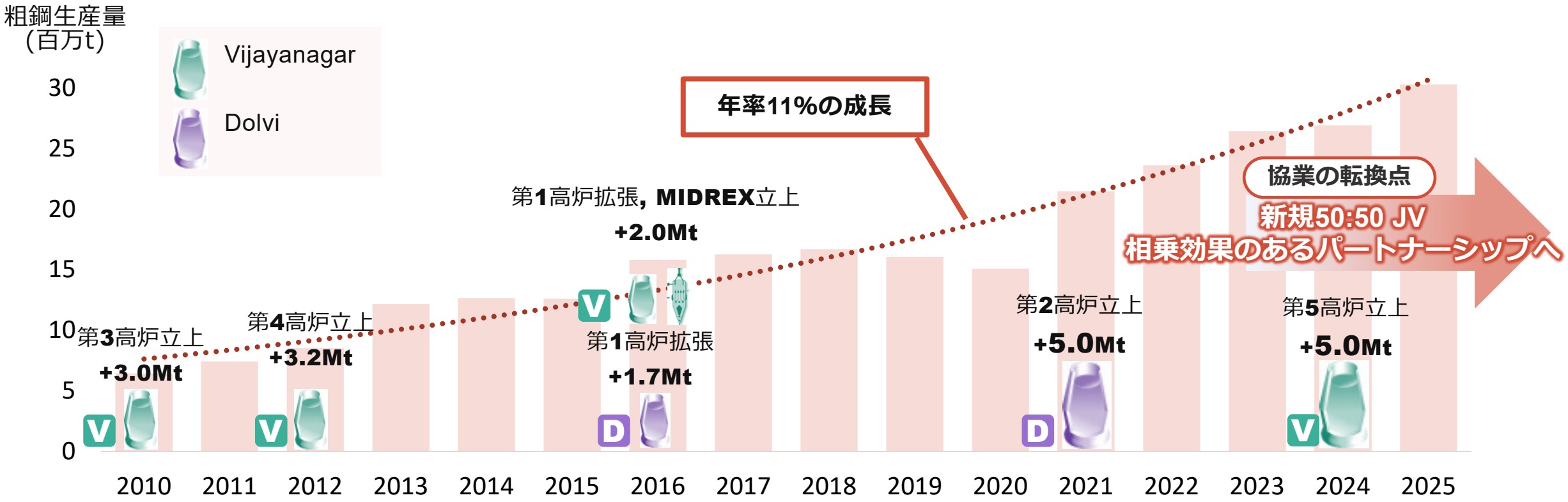
〔JSW Steel's Growth Path〕
現在　：37.9百万t
30年：54.8百万t
32年：79.5百万tへ

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

JSWの成長 - 共に歩んできたこれまでの成果

- 2010年のJFEからの初期出資以来、オーガニックグロースで成長
- 当社の技術的支援が、JSWの粗鋼生産量の年率11%成長に貢献

※2032年度までに79.5百万t到達を目指す



・ J2ES – 電磁鋼板JV
・ J2ES Nashik – 共同買収

5百万t規模高炉・製鋼工場への技術支援

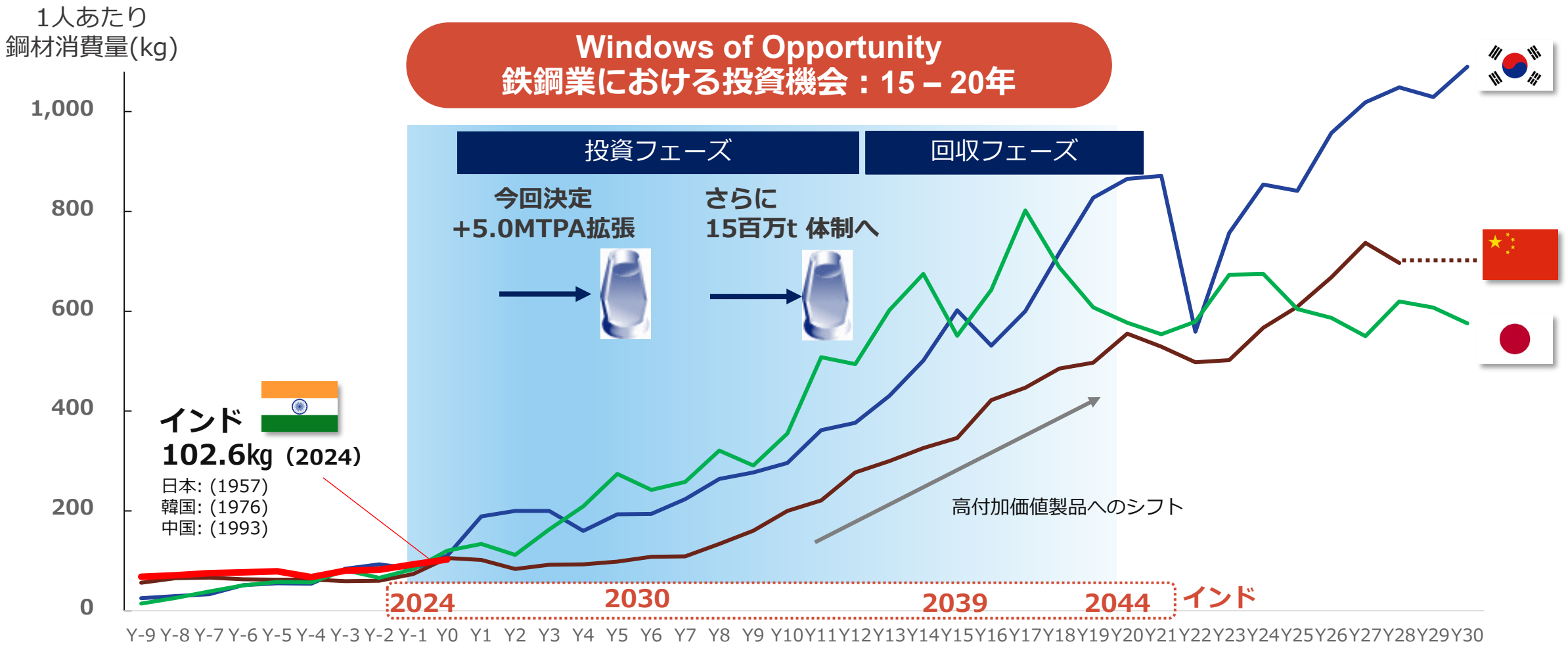
自動車用鋼板：技術供与

無方向性電磁鋼板：技術供与

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

成長マーケットであるインド市場

- 1人あたりの鋼材消費量が100kgを超えると、800kgに達するまでの約20年間に急速な消費量の成長が見られる（日本、韓国、中国など）。インドは既に急成長期に入った可能性が高い
- 鉄鋼生産能力拡張には時間がかかるため、早期に建設を開始することが好機を捉える鍵となる



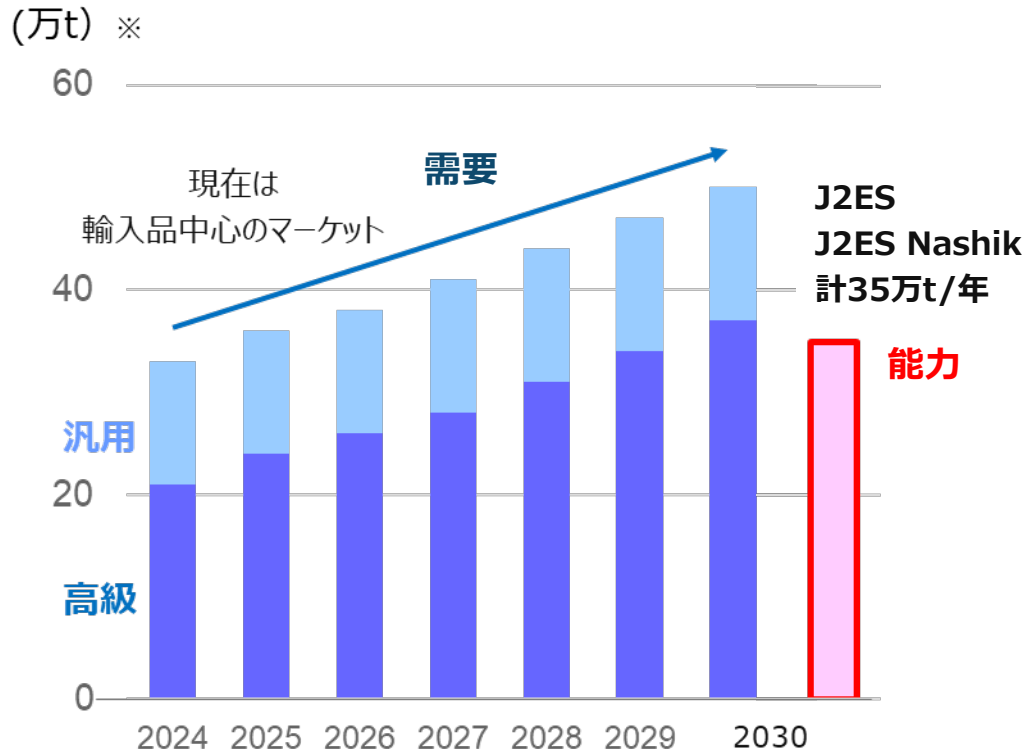
出典: *worldsteel*

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

方向性電磁鋼板 – J2ES拡張　インド市場における圧倒的No.1サプライヤーへ

- **インドの発電能力は7%/年で成長**。変圧器に使用される**方向性電磁鋼板需要も同程度の成長**を見込む
- JSWとの合弁事業を拡大し、**インドにおける方向性電磁鋼板の供給体制を大幅に強化**

拡大するインドの方向性電磁鋼板市場



※ World Energy Outlookを元に当社推定

● 製造能力拡張

J2ES			**10万t/年**
J2ES Nashik	5万t/年	→	**25万t/年**
2030年			**計35万t/年**

● 投資規模

累計 2,900億円

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

方向性電磁鋼板 – J2ES拡張　着実に進む事業基盤の強化

J2ES、J2ES Nashikの両拠点で、能力拡張・インド国内一貫生産体制の確立に向けた取り組みが着実に進展

J2ES Nashik　焼鈍･酸洗ラインにて新設完了

拡張の第一段階となる焼鈍・酸洗ラインが

2026年7月に稼働開始

⇩

輸入依存からインド国内一貫生産へ

拡大するインドの電力インフラを支える



J2ES Nashik 焼鈍･酸洗ライン

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

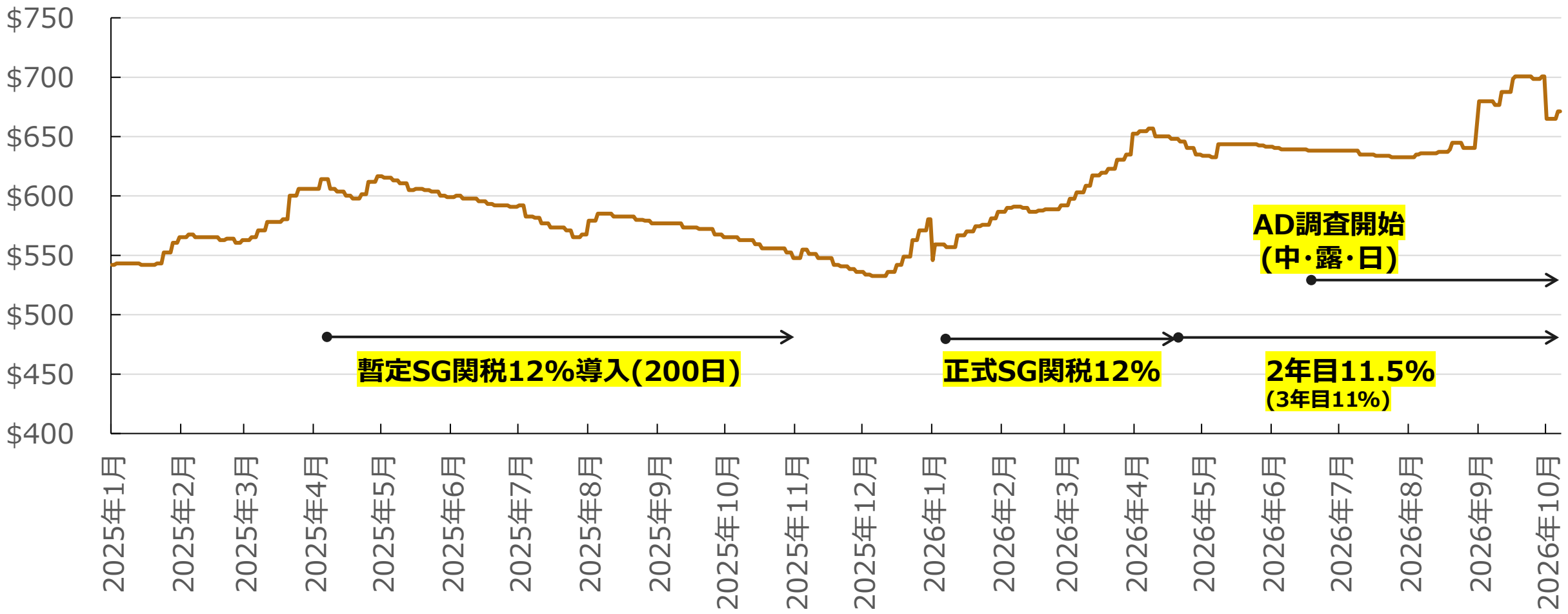


本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料ではなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
また、提示された予測等は説明会の時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。
従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控え下さいますようお願い致します。
本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.

（参考）インド国内 HOTコイル市況推移

- インド政府によるSG関税等の輸入防衛策を背景に、中国材を始めとした輸入材流入圧力は低下。
- 成長需要による需給タイト化もあり、インド国内市況は高位で推移、JJSLは良好な市場環境の恩恵を享受。



Copyright © 2026 JFE Holdings, Inc. All Rights Reserved.